

1992年新人合宿（福島県茨野漕艇場）



Friendship

1992年入部メンバ

岡井 泰之士  
奥村 武隆  
後藤 丹羽  
服部 武仁

荒川 雅昭  
菊田 政雄  
瀬賀 剛和  
長竹 弘和

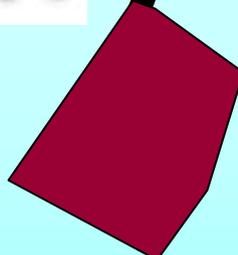
田口 忠司  
中丸 隆二  
本郷 純平

塚原 幸弘  
野口 憲太郎  
土生 拓史  
宮崎 伸了

貴井 佳浩  
畠山 賢一  
山岸 司郎  
川口 威

大島 尚子  
篠原 桜  
江川 絵理子

大場 久美  
勝村 智美  
加賀谷 昌美  
沼野 明子  
湯沢 美織



Teamwork

1995年インカレ



1年生 1992.4-1993.3



こんな劣悪な環境で生活！  
ハングリー精神を育んだ(?！)



夏合宿



荻野荘



全日本選手権

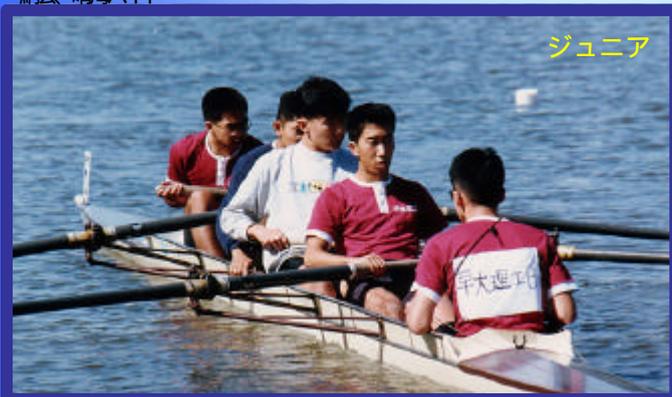


1992年

- 4月 入学、第一回新歓コンパ、第二回新歓コンパ(大黒屋)、合トレ始まる
- 5月 工科系レガッタ : 衝撃 懇親会での東工大の"秘密"  
衝撃 レース後、食当・合宿生活の存在が明らかになる。
- 6月 ボート部随伴(鬼怒川)
- 7月 合宿入り : 11名合宿入り(稲雲クルー3人、friendshipクルー4人、かちどきクルー4人)  
あまりに劣悪な環境の合宿所(荻野荘)、暑さ、疲労、艇の修理(?)に苦しむ  
ボートの事は何も分かりませんでした、みんな、夢と希望でいっぱいでした。
- 8月 合宿入りメンバは無謀にも全日本選手権に出漕。  
Friendship かちどきクルーは8分を超える
- 9月 新人合宿(福島県荻野町船場) ボートの技術より、芸を磨く(?)  
関東新人へ向けて合宿入り
- 10月 ジュニア(1クルー)、関東新人(4+:5クルー、1x:3クルー)
- 12月 マネージャ主催のクリスマス会(初めての本格的な同期会)  
大都会、六本木に、はじめて足を踏み入れた人、多数。  
納会、晴毎バイト

1993年

- 1月 初漕ぎ
- 2月 合宿入り  
初の春合宿
- 3月 追いコン



ジュニア



クリスマス会



2年生 1993.4-1994.3



全日本選手権



工科系レガッタ



ジュニア (福山市：芦田川漕艇場)



理科大戦



1993年

- 4月 新人勧誘  
早慶レガッタ  
新歓コンパ
- 5月 工科系レガッタ  
理工スポーツ大会
- 6月 全日本
- 7月 夏合宿
- 8月 インカレ、オッ盾  
岡芹、インカレ1×で準期券進出  
ジュニア合宿。はじめて、上級生がない合宿。
- 10月 ジュニア (広島県福山市、芦田川漕艇場)  
アジア大会のリハーサル大会として、広島で開催。最初で最後の遠征  
関東新人  
学業との兼ね合い、金銭的な問題、様々な思いから、ジュニア・関東新人で多くの人が引退。  
正式に、役員交代。クラブの中心となる。  
ちなみに、このときの会計状況は散々。  
借金200万、滞納部費400万。
- 11月 理科大戦：マネージャー同士のレースが実現。  
特別重ね(?)、出費
- 12月 納会、晴海バイト  
ボート部旅行 (大島)



1994年

- 1月 初漕ぎ
- 2月 合宿入り
- 3月 追いコン

3年生 1994.4-1995.3



早慶レガッタ



インカレ



軽量級選手権



新人合宿 (天竜市)

1994年

- 4月 新人勧誘、お花見カッパ：山岸、決勝進出目前で沈早慶レガッタ、新歓コンパ
- 5月 工科系レガッタ、戸田レガッタ、理工スポーツ大会
- 6月 全日本、東日本インカレ  
取り壊されるため、荻野荘を引き払う。
- 7月 軽量級、夏合宿
- 8月 米不足事件  
米不足により、タイ米100%にせざるを得ない事態発生。
- インカレ
- 9月 新人合宿(天竜市)  
例年の荻野ではなく、新たに新人合宿の地を開拓。ボートと芸の両方の指導を行う(?)
- 12月 納会、晴海バイト

1995年

- 1月 初漕ぎ
- 2月 合宿入り  
同期の宮崎が帰らぬ人に
- 3月 追いコン



4年生 1995.4-1996.3

全日本選手権



軽量級選手権



東日本インカレ



1995年

- 4月 新人勧誘、早慶レガッタ
- 5月 工科系レガッタ、戸田レガッタ
- 6月 東日本インカレ(エイト優勝)  
全日本選手権(1×山岸、準決勝進出)
- 7月 軽量級(エイト8位)、夏合宿
- 8月 インカレ(4+準決勝進出)
- 12月 納会

1996年

- 1月 初漕ぎ
- 3月 追いコン(ありがとうございました)、卒業

<現役の皆様へ、そして、未来の自分たちへ>

夢を持とう！  
強い思いを持って物事に取り組もう！  
仲間を大切に！



自分達の学年がボート部に入部したのが1992年、考えてみるともう10年以上経ったわけで、時の経つのは本当に早いものだと思います。自分達の学年は比較的部員もマネージャーも多く、沢山の良い仲間達と共に有意義な大学生活を過ごせて本当に良かったと思います。

練習はきつかったけれども、自分なりに熱い気持ちを持ってボートに打ち込んで、それがそれなりの結果として現れた時の喜びというものを経験出来て本当に良かったですが、それと同時に今でもあの頃もっともっと速くなるために頑張ったのではないかという後悔も強く

あります。こういったボート部での経験が、今でも、仕事にでも何にでも自分にとって大事なものには、情熱を持って自分で納得のいくように取り組もうと気持ちのベースになっているような気がします。

あと、ボート部と言えば合宿生活。荻野荘での生活を経験したら、世界中どこでも生活出来る筈。非常に貴重な経験でした。。

残念ながら今は戸田から遠く離れてしまい、ボートを見る機会がなくなりましたが、後輩達の活躍を見に、また戸田に行きたいと思えます。

島山賢一(1995年度主将)